

鳥信 WEB 版 2020 年 4 月号

＜筑後エリア＞

＊1月15日 カワアイサのペア KT

船小屋の千間土居公園沿いから矢部川を探すと、やっとペアでいるのを発見しました。



▲カワアイサのペア・八女市千間土居公園 撮影：KT

＊1月18日 朝倉市と筑前町の溜池のガンカモ調査から 池長裕史

① 朝倉市上須川溜池は浚渫後は種数とハジロの類が少なくなりました。

カルガモ 2、ヒドリガモ 256、オカヨシガモ 19、キンクロハジロ 11、ホシハジロ 3、カイツブリ 2

② 昭和池(フォレストパークあさくらの下)

マガモ 5、コガモ 24、ヒドリガモ 165

③ 小池(朝倉市柿原)

オシドリ 1、マガモ 10、コガモ 54

④ 丸山池(朝倉市甘木公園内)

ヒドリガモ 30、オオバン 2、カイツブリ 1

⑤ オの木池(西池と東池：筑前町下高場)

ハシビロガモ 9、マガモ 4、コガモ 35、カイツブリ 3

⑥ 田代池(筑前町曾根田) ヒドリガモ 35

⑦ 牧の池(筑前町牧の池)

カルガモ 5、キンクロハジロ 3、スズガモ 1、ヨシガモ 9、ハシビロガモ 1

⑧ 当所池(筑前町当所)

ヨシガモ 16、オカヨシガモ 24、ホシハジロ 7、キンクロハジロ 1、オオバン 2



▲ヨシガモ・当所池 撮影：池長裕史

***1月18日 釈迦岳の小鳥 KT**

友人と釈迦岳に登ると、登山道の縦走路は薄っすらと雪化粧でした。天気は晴れでしたので、行けそうな所までと椿が鼻までは登り、釈迦ガ岳への縦走路に來ると、カヤクグリが雪の積もった枯れ葉に埋もれた餌を啄んでいました。初見でした！

そこからは途中で引き返すことにして車道におりた時、ふっと見上げた上空にウソとお腹まで真っ赤なアカウソが枝に止まっているのを見つけました。

帰りに鯛尾金山コースを通ると、杉林の間を群れて飛び交う鳥さんに出逢い、キクイタダキかと思っていたらマヒワでした。



▲カヤクグリ・釈迦岳 撮影：KT



▲マヒワ・釈迦岳 撮影：KT

*** 1月19日 筑後川のアメリカヒドリとトモエガモ Mt. Sige**

久留米城址初心者向け探鳥会でアメリカヒドリが見つかりました。嘴の根元から後頭部にかかる白と、目の周囲にかかる深緑のコントラストが美しく、なんとかカメラに収めたいと思い、探鳥会後に JR 橋脚付近まで歩くと、土手の草地では数百羽のヒドリガモと一緒に食事をしていました。食べ終わると一緒に川の方に飛び立ち、気持ち良さそうに川面に浮かんでいました。

その後、天建寺橋に出かけて、今度はトモエガモを観に行きました。300m 程歩いた下流域の対岸のオナガガモの大群の中に 3 羽程見つかりました。ここでも、寒風吹きさらす中で探すのに大変苦労しました。



▲アメリカヒドリ・筑後川 撮影：Mt. Sige



▲トモエガモ・久留米市大善寺町天建寺橋下流 撮影：Mt. Sige

***1月20日 コクマルガラス*黒白両タイプ・久留米市田主丸町 池長裕史**

家の窓から見える田んぼにミヤマガラスの群れが来ていました。中に「キュー、キュー」と鳴く声が聞こえたので、コクマルガラスが混じっていることが分かりました。白いタイプも居ました。



▲コクマルガラス（1月23日）・久留米市福岡県緑化センター前 撮影：石橋

***1月29日 オオアカハラ?・久留米市山川 怡土正義・秀子**

1月から2月にかけて自宅でアカハラを観察しました。



▲オオアカハラ?・久留米市山川 撮影：怡土正義

《池長による追加説明》もともと九州ではシロハラに比べてアカハラの個体数は少ないようですが、このように頭の黒い個体はアカハラの雄個体に該当します。同じ雄でもここまで黒くなると亜種アカハラとは別の亜種オオアカハラの可能性が高いと思われます。

亜種アカハラが北海道から本州中部以北で繁殖し、全国的に越冬するのに対し、亜種オオアカハラは千島で繁殖する亜種とされています。「オオ」というほどサイズに大きな差は無いと考えられていますが、鳥類目録では本州の一部で記録されているだけで九州からの正式記録はありません。雄個体の色が濃く、嘴が長い（大きい）とされているのですが、野外識別でははっきりとした判断は難しいようです。

私は、この個体をオオアカハラの可能性が高いと考えましたが、記録的に整理されておらず、未知数と言える鳥です。

筑前町笠堤のミコアイサ

昨年12月には松延池などでミコアイサが観察されていましたが、笠堤でも観察されました。

***1月21日 ペア3組 KT**

この池にはヨシガモのペア、コガモ、ハシビロガモの群れ、キンクロハジロ、ホシハジロ、カイツブリ、ヒドリガモ、マガモなどがいました。

***1月26日 7羽 KT**

ペアが3組にもう1羽が増えて合計7羽でした。その1羽はエクリプスかオスの幼鳥?ではないかと思えました。

*** 2月3日 雄4羽、雌3羽 西本**

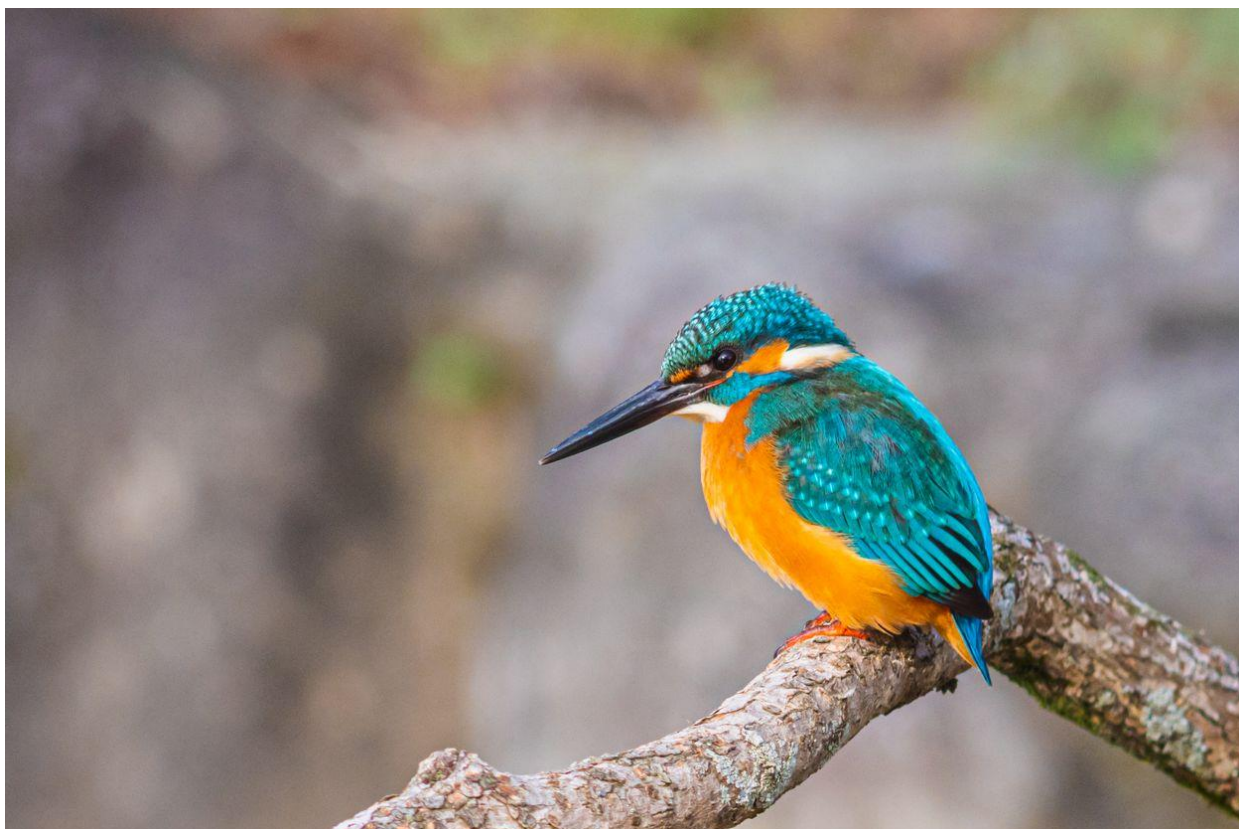
昨日より少しだけ近くまで寄って来てくれました。



▲ミコアイサ(雄4羽、雌3羽)・筑前町笠堤 撮影：西本

***2月1日 カワセミ・花立山公園 渡邊 剛**

午後3時過ぎから花立山公園でカワセミを観察しました。遊具改修中そばのとまり木にいました。



▲カワセミ・花立山公園 撮影：渡邊 剛

***2月2日 フクロウ*1・小郡市上西緋坂宝満川 佐藤千絵美**

最初トンビかと思いましたが、ずっと川の上をフワフワ飛んでいたのが双眼鏡で覗いたら…フクロウ！顔がペチャンコなのが印象的でした。

***2月2日 ノスリ・花立山探鳥会にて 西本**



▲ノスリ・筑前町運動公園 撮影：西本

***2月3日 アオゲラ*1・みやま市清水山 Mt. Sige**

展望所下の方から「ピューツ、ピューツ」と甲高い声が響き渡るので、急ぎ足で下ると、樹木の幹に何か黒いものが見え隠れしながら登っているのを見えました。



▲アオゲラ・清水山 撮影：Mt. Sige

***2月5日 ミヤマガラスの「ブランコ遊び？」行動・久留米市田主丸 池長裕史**

時折、自宅前の田んぼにミヤマガラスが来ます。今日の群れにはコクマルガラスは入っていませんでしたが、電線にぶら下がりてブランコのような行動をしている個体がありました。

カラスには時折こんな遊びのような仕草をする個体が見られるのですが、何をしているのでしょうか。



▲ミヤマガラスのブランコ遊び？・久米飯田主丸町 撮影：池長裕史

***2月5日 ツリスガラ・城島町・六五郎橋河川敷 石橋**

初めてのオオジュリン♂や、ツリスガラ♀が片足で葦に止まり、他方の足で葦の皮をはぎ、餌を取る様子を観察できました。



▲ツリスガラの雄（左）と雌（右）・六五郎橋河川敷 撮影：石橋

***2月18日 ウソ・みやま市清水山第3展望台 Mt. Sige**

ウソが現れ、なんとモミジの種子の羽根の部分の嘴で上手に取り外して、種子だけを食べていました。



▲ウソ（アカウソ？）・清水山 撮影：Mt. Sige

***2月19日 河津桜とメジロ・花畑駅付近 岡本 正**

西鉄花畑駅近くに3本の河津桜がありますが、例年ヒヨドリが邪魔してメジロが飛ぶのを押さえていました。今年はヒヨドリが幸いにいませんので、メジロが喜んで蜜を吸う瞬間を捉える事が出来ました。



▲河津桜とメジロ・西鉄花畑駅付近 撮影：岡本 正

***2月20日 ニシオジロビタキ・小郡市干潟城山公園 石橋**

小郡市城山公園・花立山・筑前町笠堤へ探鳥に行きました。鳥の種類は定例探鳥会に近い状態でしたが、城山公園の池回り探鳥の後、池の横の山手を探鳥中に、ニシオジロビタキと思われる小鳥に出会いました。



▲ニシオジロビタキ・小郡市城山公園 撮影：石橋

***2月23日 ヘラサギ*12、クロツラヘラサギ*15・筑前町下高田 池長裕史**

オの木池に毎年この時期、ヘラサギ類がやってきます。どこからかこんな内陸部にもヘラサギ類が集まるのですね。池にはセイタカシギもいました。



▲ヘラサギ類・筑前町下高田 撮影：池長裕史

*** 2月23日 大牟田市昭和開の野鳥 石橋**

大牟田探鳥会の後で、昭和開の調整池へカモ類の探鳥に行きました。

キンクロハジロ・ホシハジロ・オオバン・カワウ・カンムリカイツブリ、カイツブリ等に混じって、スズガモが、近くに居て驚きました。キンクロハジロの中にいると遠くからでは区別しづらく、正確な数はわかりませんが、♂♀が10組前後居たようです。又岸辺の葦にオオジュリンが居ました。カンムリカイツブリやオオジュリンは夏羽変わりつつありました。



▲スズガモのペア・大牟田市昭和開 撮影：石橋

*** 2月23日 久留米市ゆめタウン裏の野鳥 KT**

久留米市ゆめタウン裏の筑後川河川敷に行きました。以前とは違って、樹木は切られ葦は半分以上刈り取られ、全く様変わりしていいました。それでもウグイスやアオジ、ホオジロ、ジョウビタキ、ツグミ、ムクドリ、シロハラ などは現れてくれました。鳥友によるとベニマシコのオスが1羽いたそうです。

*** 3月3日 アリスイとニシオジロビタキ・久留米市ゆめタウン裏 Mt. Sige**

「ゆめタウン久留米」の裏の筑後川河川林へ野鳥観察に出かけました。野花、小川のせせらぎ、ヒバリの囀りなど春の息吹を撮ろうとカメラマンがあちこちにいました。サイクリングロードを歩くと、岸辺の草地ではセッカの地鳴きが聞こえ、葦の中にはオオジュリンやホオジロが穂先に絶えず現れてくれました。水門先のヤナギを中心とした林の中に、木肌と同化したものがチラッと動いたのが感じられたので目を向けると、なんとアリスイでした。直ぐに飛び立つも、近くに止まってくれました。更に歩を進めると、木々の間を小さな鳥が「ジリリ、ジリリ」と鳴きながら盛んに飛びまわっているので、カメラを向けると、やはりニシオジロビタキでした。

《池長による追加説明》

筑後川河畔林のニシオジロビタキは2月26日から観察されています。

この個体は喉にオレンジ色が出ている雄タイプと考えられますが、オジロビタキとの識別について検討しました。

まず、この画像から下嘴が淡色であることが分かります。さらに、上尾筒の色が淡色で、腰との境界がはっきりしていないことが分かります。

オジロビタキの場合、①嘴が黒っぽく、②上尾筒が黒く、腰の灰色部分とのコントラストが際だって見えるとされていますので、ニシオジロビタキと判断しました。

今シーズンは小都市でもニシオジロビタキと考えられる鳥が観察されていますが、オジロビタキに比べてニシオジロビタキの方が越冬する個体が多いようです。



▲ニシオジロビタキ（正面）・筑後川河川敷 撮影：Mt. Sige



▲ニシオジロビタキ（背面）・筑後川河川敷 撮影：Mt. Sige



▲アリスイ・筑後川河川敷 撮影：Mt. Sige

筑後エリア初記録のコウライアイサ

みやま市高田町竹飯の飯江川にて（解説・池長裕史）

発見者は宗像市の岡部さんで、ササゴイの調査の際に、1月に確認されました。



▲コウライアイサ・2020年1月11日みやま市高田町竹飯の飯江川 撮影：岡部海都

世界的な珍鳥とされるコウライアイサのメス個体 1 羽が筑後エリアで初めて確認されました。コウライアイサは世界で 5000 羽以内と考えられている希少種ですが、九州を含めて西日本では毎年のように数羽が渡来していると考えられます。

正確な終認については確認できませんでしたが 3 月 1 日から 3 月 14 日にも観察されています。

今シーズンの筑後エリアではこれまで国内で確認されているアイサ類全種（ウミアイサ、カワアイサ、コウライアイサ、ミコアイサ）が観察されました。

＜近隣エリア＞ 筑紫野市山神ダムのベニマシコ

* 1 月 10 日 KT

10:20~12:10 までしかおれませんでした。ベニマシコのオスもメスも 3~4 回出てくれました。1 年振りの再会でしたので、嬉しくてたまりませんでした。

ベニマシコは、去年は好んでセイタカアワダチソウの実を食べていましたが、今回はヘクソカズラの実などを食べていました。

* 1 月 11 日 岡本 正

初めてベニマシコを撮る事が出来て感激しました。オス単独・メス単独・ペア・真っ赤オスと色々で鳥さんにも感謝です。

現場は山神ダム上流部で山あいの沢沿いの寒い所です。

* 2 月 8 日 西本

山神ダムのベニマシコに会うことができました。

1 度目は全然会えなかったのですが、今回は、ベニマシコのほかにウソ、イカル、アオゲラ等、初めて見るものが多く、とても感激です。

* 2 月 23 日 渡邊 剛

4 回目にして、ようやくベニマシコ（オス）を撮ることができました。11:40 くらい、向かいの繁みに居たり、手前の繁みに居たりしました。現場には私も含めて 3 人いて、みなさんとても嬉しそうでした。



▲ベニマシコ(雄)・2020 年 1 月 10 日筑紫野市山口山神ダム 撮影：KT



▲ベニマシコ(雌)・2020年1月11日筑紫野市山口山神ダム 撮影：岡本 正

***1月24日 ツグミの水浴び・佐賀県鳥栖市 森池勝利**

今日はツグミが多いなと思いながら散歩していたら、川の中で盛んに水浴びしているツグミを発見しました。初めて見ました。



▲ツグミの水浴び・鳥栖市 撮影：森池勝利

*** 2月7日 アリスイ・佐賀県鳥栖市朝日山付近 森池勝利**
散歩中に川岸の木にとまっていた。



▲アリスイ・鳥栖市 撮影：森池勝利

*** 2月10日 ハジロカイツブリ・熊本県荒尾市 岡本 正**
荒尾干潟水鳥・湿地センターの海辺でハジロカイツブリが餌とりをしている所を観察しました。



▲ハジロカイツブリ・荒尾干潟水鳥・湿地センター 撮影：岡本 正

2月19日 マヒワ*±15・熊本県玉名市蛇ヶ谷公園 Mt. Sige

蛇ヶ谷公園に野鳥観察に出掛けました。駐車場内のモミジバフウと思われる落葉した高木にカワラヒワの群れがいました。しかし、その中に黄色っぽい小さな鳥がチラチラと飛び交っているのを発見しました。やっぱりマヒワでした。15羽程いました。この日は、水飲み場でルリビタキ♂、展望台に向かう林の中でアオバト、展望台上空で5羽のノスリの舞など、貴重な野鳥のシーンが見れ、最良の日となりました。



▲マヒワ(雄)・蛇ヶ谷公園 撮影：Mt. Sige

* 2月25日 ヨーロッパムナグロ他・東与賀干潟(大授搦)の野鳥 石橋

東よか公園干潟へ探鳥に行きました。潮高 5.2mと低い状況で野鳥観察をする人は少数でしたが、クロハラコアジサシ 2羽、ヨーロッパムナグロ 1羽や、夏羽状態のオグロシギ 1羽がいました。

《ヨーロッパムナグロについて池長による追加説明》

昨年末より佐賀県の有明海沿岸でヨーロッパムナグロという鳥が観察されています。観察されているのは1羽だけですが、大授搦や佐賀空港、早津江川河口部にも移動しているようです。残念ながら福岡県側には来ていないようです。

この鳥が日本で記録されるのは、未公表の記録を含めても今回が6回目となる、記録の少ない鳥です。ムナグロに似ているので、もしかすると見分けられないまま過ごされてきた可能性も無いわけではありません。

今回は干潟でダイゼンと一緒に見られたり、佐賀空港ではムナグロやタゲリと一緒に見られたりしていますが、基本的には単独で行動しているようです。

よく似たムナグロやダイゼンとの違いは、ムナグロとはサイズが大きいことや嘴が小さめに見えること。ダイゼンとは、これはムナグロとの比較でも決定的なのですが、翼の下面が白いこと、ダイゼンの場合は脇に黒斑が出ます。



▲ダイゼン(左)と並んでいるヨーロッパムナグロ・大授搦 撮影：石橋

＜九州各地＞

***1月9日 アリスイ・長崎県佐世保市 大藤和浩**
私の地元で撮りました。



***1月29日 ハチジョウツグミとヒレンジャク・佐賀県小城市 Mt. Sige**

小城公園へ「レンジャク探し」に行きました。岡山神社の駐車場に車を止め、池に沿って歩くと、桜の樹にハチジョウツグミがいました。次に、テニスコートの側の落葉した高木に20羽程のレンジャクの群れがいました。その後ヤドリギのある樹木に止まり、その実を食べ始めました。全部ヒレンジャクで、キレンジャクは確認出来ませんでした。



▲ハチジョウツグミ・佐賀県小城公園 撮影：Mt. Sige



▲ヤドリギとヒレンジャク・小城公園 撮影：Mt. Sige

*** 2月6日 キバラガラ・福岡市大濠公園 KT**

福岡の大濠公園にキバラガラが来ています。この日ようやく見ることができました。最初はメジロの動きにつられて見つけることが出来なかったのですが、鳴き声で位置を教えてもらいました。キバラガラは2羽と幼鳥がいるとのこと。



▲キバラガラ・大濠公園 撮影：KT

探鳥会確認鳥種リスト（2020年1月）

	12日	13日	19日	26日
観察地	高良山	大授搦	篠山城	濃施山
天候	曇り	曇り	晴れ	曇り
参加総数	6人	16人	人	16人
観察鳥種	18種	27種	36種	25種
ツクシガモ		○		
オカヨシガモ			○	
ヨシガモ		○		
ヒドリガモ		○	○	
アメリカヒドリ			○	
カルガモ			○	○
オナガガモ			○	
コガモ		○	○	
カイツブリ			○	
キジバト	○		○	○
アオバト	○			
カワウ	○		○	
アオサギ	○	○	○	
ダイサギ		○	○	○
コサギ			○	
ヘラサギ		○		
オオバン			○	
ダイゼン		○		
シロチドリ		○		
メダイチドリ		○		
ミヤコドリ		○		
チュウシャクシギ		○		
ダイシャクシギ		○		
ホオロクシギ		○		
アカアシシギ		○		
コアオアシシギ		○		
アオアシシギ		○		
イソシギ			○	
ハマシギ		○		
ユリカモメ		○		
ズグロカモメ		○		
セグロカモメ		○		
ミサゴ		○	○	○
トビ				○
ハイタカ				○
カワセミ				○
コゲラ			○	○
アオゲラ				○
モズ				○
カササギ	○			
ハシボソガラス	○		○	○

ハシブトガラス	○		○	○
キクイタダキ			○	
ヤマガラ			○	
シジュウカラ			○	
ヒバリ				○
ヒヨドリ	○		○	○
ウグイス	○	○	○	○
エナガ	○		○	
メジロ	○		○	○
ムクドリ			○	
シロハラ	○	○	○	○
ツグミ	○		○	○
ジョウビタキ	○		○	○
スズメ				○
キセキレイ				○
ハクセキレイ	○	○	○	○
セグロセキレイ			○	○
ビンズイ			○	
タヒバリ			○	
アトリ			○	
カワラヒワ	○		○	
シメ	○		○	
ホオジロ	○			○
アオジ				○
番外				
ドバト	○		○	

探鳥会確認鳥種リスト（2020 年 2 月）

日付	2 日	9 日	16 日	24 日
観察地(略)	花立山	高良山	G 八女	延命公
天候	晴れ	晴れ	中止	晴れ
参加人総数	14 人	8 人	中止	13 人
観察鳥種	37 種	23 種	中止	36 種
オシドリ	○			
オカヨシガモ	○			○
ヨシガモ	○			
ヒドリガモ	○			○
マガモ	○			
カルガモ	○			○
オナガガモ	○			
コガモ	○			
ホシハジロ	○			○
キンクロハジロ	○			
ミコアイサ	○			
ウミアイサ				○
カイツブリ	○			○
カンムリカイツブリ				○
キジバト	○	○		○
カワウ	○	○		○
アオサギ	○	○		○
ダイサギ	○			
イソシギ				○
セグロカモメ				○
ミサゴ	○			○
トビ				○
ノスリ	○	○		
カワセミ	○			
コゲラ	○	○		○
サンショウクイ		○		
モズ	○			○
カササギ				○
ミヤマガラス	○			
ハシボソガラス	○	○		○
ハシブトガラス	○	○		○
ヤマガラ	○	○		○
シジュウカラ	○	○		○
ヒヨドリ	○	○		○
ウグイス		○		○
エナガ		○		○
メジロ	○	○		○
ミソサザイ		○		
ムクドリ	○			○

シロハラ	○	○		○
ツグミ	○			○
ルリビタキ		○		
ジョウビタキ	○	○		○
スズメ	○			○
キセキレイ	○	○		
ハクセキレイ				○
ビンズイ				○
アトリ		○		
カワラヒワ	○	○		○
シメ		○		○
イカル				○
ホオジロ	○			
アオジ	○	○		○
計 53 種	番外			
ソウシチョウ		○		
ドバト		○		

* サンショウクイはリュウキュウサンショウクイです。

* 緑化センター探鳥会は新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止されました。